

港区立

港郷土資料館へ

行ってみよう!

第2号



え ど じ だい 江戸時代へタイムスリップ -江戸切絵図-



こん かい 今回は、江戸時代の港区が
えが ち ず 描かれた地図をご紹介します。
いま 150年ほど前に
つく 作られたのよ。

いま ち ず おな 今の地図と同じところ、
ちが 違うところはどこだろう？

え ど じ だい 港区は、
どんな様子だったのかな？



港郷土資料館

江戸切絵図ってなに？

江戸の町を描いた地図には、大きく分けて大絵図と切絵図の2種類があります。大絵図は江戸の町全体を描いた地図です。

切絵図は、今の区分地図と同じようなもので、江戸の町を分割して描いた地図です。この地図は木版画で、小さく折りたたむことができ、持ち運びに便利でした。

江戸の町に住む人々が日常的に使うほか、江戸の観光マップとしても人気を呼び、おみやげとして全国に持ち帰られました。

近江屋(近吾堂)と尾張屋(金鱗堂)

切絵図は、江戸のいくつかの店で発行していました。麹町にあった「近江屋(近吾堂)」と「尾張屋(金鱗堂)」が発行したものは、今でもよく見られます。近江屋は弘化3(1846)年、尾張屋は嘉永2(1849)年に切絵図を作りはじめました。

切絵図の見方・読み方

切絵図にはいろいろな記号が書かれていたり、色分けがされています。この記号や色分けの意味がわかると、江戸の町がどんな様子だったかわかるよ！

無色…武家屋敷

家紋のある所…大名屋敷〈上屋敷〉→藩主(大名)や家族の住まい。

■のある所…大名屋敷〈中屋敷〉→一般的に隠居した藩主やあつぎなどの住まいとして利用されました。

●のある所…大名屋敷〈下屋敷〉→一般的に食料などをしまつ蔵をつくったり避難所や別荘として利用されました。

赤色…神社・寺

灰色…町屋

緑色…田畑や明地(空地)など

黄色…道・橋

青色…川や海、水路など

□…辻番(交番のようなもの)

この切絵図は江戸時代の芝・高輪辺りを描いたものだよ。



ヒント 1

方位を確認しよう！

ヒント 2

今でも同じ場所にあるお寺があるよ。

クイズ

江戸時代には、何があったのかな？

右の1～3の場所は、江戸時代には何があった所だろう？現代の地図とくらべながら、切絵図のまわりに書いたヒントを参考にして考えてみてね！(答えは最後のページにあります。)

1. 港区立港郷土資料館

2. JR田町駅

3. 慶應義塾大学

ヒント 3

海沿いの道(東海道)は、今の第一京浜国道。

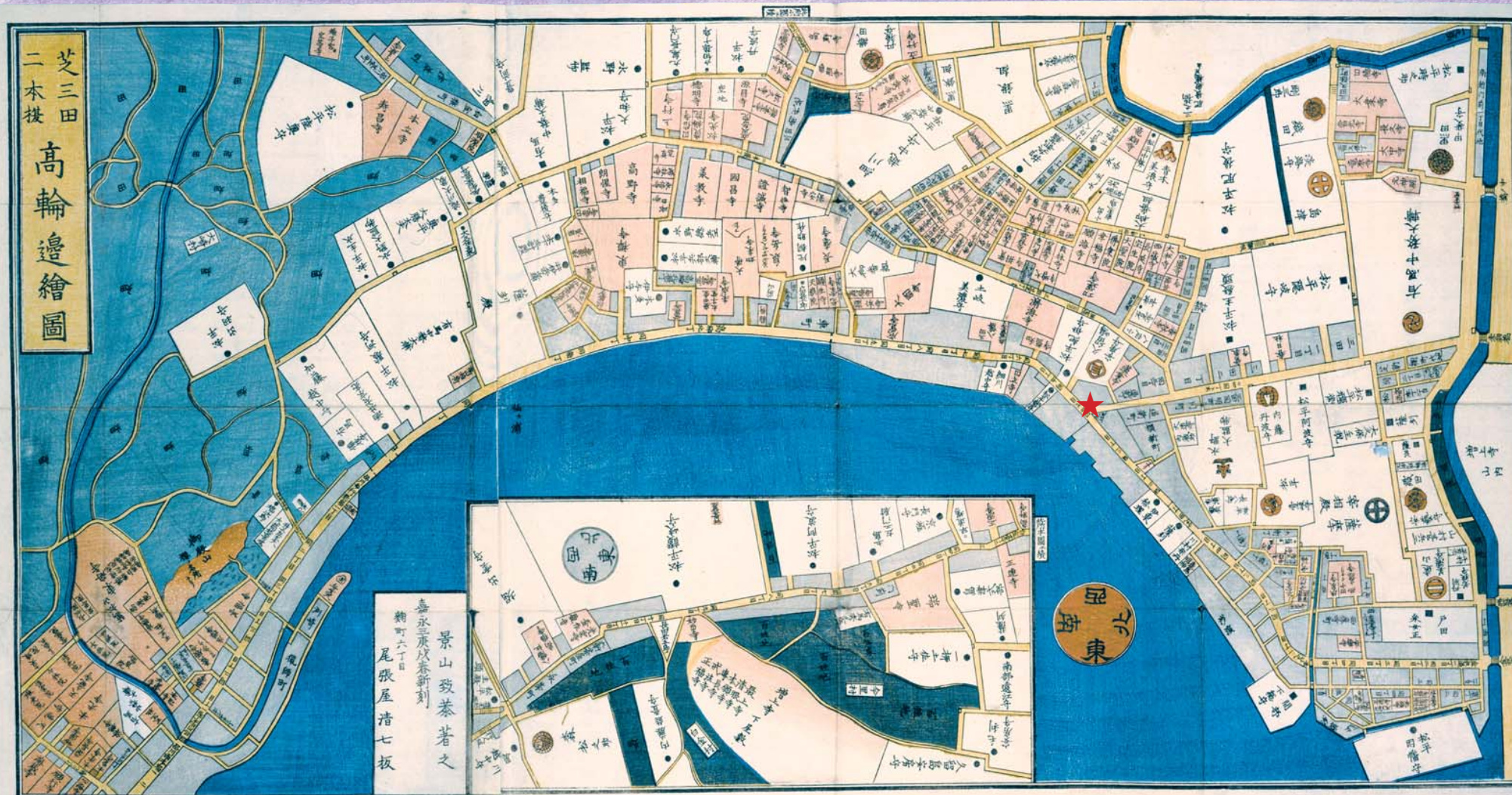
ヒント 4

札の辻の交差点に★印をつけました。目印にしてみよう！

ヒント 5

今でも流れている川があるよ。

「芝三田 二本榎 高輪辺絵図」(尾張屋板) 36.3×72.4cm



港区内を描いた 地図は6枚!

おわりやばん きりえず えど しがいち
尾張屋板の切絵図は江戸の市街地
しゅうへんちいきを31の地図に分割して描
いています。港区は前のページで紹介
した「芝三田 二本榎 高輪辺絵図」の
ほか、「東都青山絵図」「今井谷 市兵
衛町 赤坂全図」「東都麻布之絵図」「芝
口南 西久保 愛宕下之図」「目黒白金
図」の計6枚に描かれています。



「芝口南 西久保 愛宕下之図」(尾張屋板) 48.8×52.1cm

これらの切絵図は港郷土資料館で見ることができます。手軽に閲覧できる複製も用意して
いますので、自分の家や学校の辺りが江戸時代にはどんな様子だったか調べてみませんか?

クイズの答え

- 1.「大道寺内蔵助」⇒武家屋敷。
- 2.「海」・「●薩洲」・「●伊東修理」⇒大部分は海の中。一部は薩摩鹿児島藩の下屋敷と日向飢肥藩の下屋敷。
- 3.「■松平主殿頭」⇒肥前島原藩の中屋敷。



港郷土資料館利用のご案内 (場所は上の地図をごらんください。)

開館時間
休館日
交通

みなときょうど しりょうかん りょう あんない
午前9時～午後5時(さわれる展示室は火・水・金・土の午後0時30分～4時30分)
にちようび しゅうじつ まいつきだい もくようび ねんまつねんし とくべつせいりきかん
日曜日・祝日・毎月第3木曜日・年末年始・特別整理期間
JR「田町」駅下車徒歩5分
とえいち かてつ み たせん あさくせん み た えきげしゃ と ほ ふん
都営地下鉄三田線または浅草線「三田」駅下車徒歩2分
とえいち たまちえきまえ ていりゅうじょげしゃ と ほ ふん
都営バス「田町駅前」停留所下車徒歩1分
みなとく たまちえきまえ ていりゅうじょげしゃ と ほ ふん
港区コミュニティバス(ちいばす)「田町駅前」停留所下車徒歩1分
とえいち たまちえきにしくち ていりゅうじょげしゃ と ほ ふん
「田町駅西口」停留所下車徒歩3分

港区立 港郷土資料館へ行ってみよう! 第2号

平成17年3月11日発行

編集・発行 港区立港郷土資料館 〒108-0014 東京都港区芝5-28-4 ☎03(3452)4966

イラスト:横山真弥 デザイン:annes 印刷:(株)文洋社



古紙配合率100%再生紙を使用しています。
白色度70%



刊行物発行番号
16098-7541